

材料/部品

※桐塑(とうそ)とは:

桐のおがくずに生麩糊を加えて練り固めたものを型に入れて抜き、乾燥させて作った土台



指導: 江戸木目込人形師 塚田 真弘

「あまびえ」ストラップの作り方

※ボンドは、あまりはみ出さないように気をつけましょう。



同柄の布を3等分に切ります。



ボンドはペットボトルのキャップなどの容器に使用する分だけ入れておくと作業がしやすくなります。

(※番号は左図の貼る場所)



ボンドを竹串の先端につけ、桐塑の溝の奥に伸ばしながら塗って行きます。竹串はボンドをつけ終わったら、その都度おしぼりなどで拭くようにします。



3等分に切った布のうち1枚を桐塑にあてて、溝の上をなぞるように「押し込み道具」で強く押し込んでいきます。

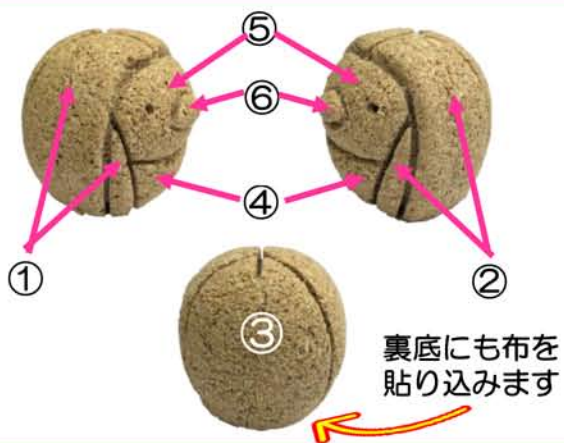


布に溝の跡がくっきりついたら、半分まではがします。



はがした布にボンドの跡が付いているので、そのボンドの1mm程度外側をハサミで切ります。

布を貼る場所(6か所)と貼る順番



裏底にも布を貼り込みます

※①及び②の場所は、布を切らずに1枚で貼り込んでください。

※この部分

※⑤を貼り込む際は、⑥の上にもかぶさるように貼り込みます。その際、⑤の布の⑥の部分にあたる場所に十字に切り込みを入れておくと、⑥の部分が飛びだし、⑥が貼りやすくなります。



布を切り終わったら再び元に戻し、「押し込み道具」を使って布の端が飛び出さないよう溝に強く押し込んでいきます。



布から大きくはみ出してしまった場合は、もう1度剥がして切り取って、再度溝に強く押し込んでいきます。これが「木目込み」です。



金具先端にボンドをつけペンチなどでしっかり奥まで差し込んでください

残りの面も同様の作業を繰り返し、左右の目にボンドを塗って差し込み、最後にストラップのひもをつけて完成です。